

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
第20回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2022) 開催について

配布日時：2022年1月11日 14時
文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
国立研究開発法人物質・材料研究機構
ナノテクノロジープラットフォームセンター

最先端のナノテクノロジー施設・装置を持つ研究機関が連携して、全国的な設備共用体制を構築する「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム」および、設備共用に加え新たにデータ収集・利活用を目指す「文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ」合同で、「第20回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2022)」を、2022年1月28日に東京ビッグサイトにて開催いたします。

1. 主な講演内容

近年の環境・気候問題、新型コロナウイルス感染症の世界的流行など、地球規模の課題が顕在化する中、持続可能な開発目標 (SDGs) の重要性が高まっています。同時に、超スマート社会実現 (Society 5.0) に向け、様々な分野でデジタルトランスフォーメーション (DX) の推進が叫ばれています。

これまで、「ナノテクノロジープラットフォーム」では、先端設備を広く共用することで、日本の科学技術振興を下支えしてきており、最終年度を迎えこれまでの10年間の成果を総括します。さらに、マテリアル革新力強化を目指し、マテリアル開発分野にもDX革命を取り入れるべく新たに立ち上げられた、「マテリアル先端リサーチインフラ」によってもたらされる未来を俯瞰します。

講演セッション1では、ナノテクノロジープラットフォームを構成する3つのプラットフォームおよびセンター機関による、事業開始から10年間を振り返った成果のあらましを総括します。

講演セッション2では、基調講演として、「マテリアル革新力強化に向けたマテリアルDXプラットフォームへの期待」と題して、岸輝雄新構造材料技術研究組合理事長からご講演いただきます。続いて、特別講演として、ロボットによる実験機器ジョイントの近未来を提唱する一杉太郎東京工業大学教授から、「マテリアル先端リサーチインフラが牽引するリサーチトランスフォーメーション～実験装置に加え、データ・知識の共有～」をご講演いただきます。海外招待講演としては、海外におけるデータ活用事例として米国NISTのMartin Green博士から次期マテリアルゲノム計画について、さらにドイツフンボルト大学のClaudia Draxl教授よりヨーロッパにおけるデータインフラの新しい取り組み (FAIRmat) についてご紹介いただきます。

講演セッション3では、「マテリアル戦略におけるデータ利活用の重要性」と題し、産学官それぞれの立場から現状と将来展望をお話しいたします。最初は、鈴木豊太郎教授から東大におけるデータ活用社会創成プラットフォーム「mdx」への取り組みとその将来像について、次に出村雅彦博士から物質・材料研究機構におけるデータ中核拠点の取り組みについて、さらに、早稲田大学一村信吾教授より出力データフォーマットの標準化についてご講演いただきます。

2. 開催概要

- (1) 開催日時：2022年1月28日 (金) 10:00 - 17:10 参加費：無料
- (2) 場 所：東京ビッグサイト 会議棟7階 国際会議場 (東京都江東区有明) オンライン併用
- (3) 使用言語：英語/日本語 (同時通訳付)
- (4) 主 催：文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
国立研究開発法人物質・材料研究機構ナノテクノロジープラットフォームセンター

3. 文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」「マテリアル先端リサーチインフラ」について

「ナノテクノロジープラットフォーム」は、微細構造解析、微細加工、及び分子・物質合成の3つの分野で最先端のナノテクノロジー施設・装置を有する25法人が、全国の産学官の研究者へ利用機会を提供し、知識を共有することに拠り、イノベーションにつながる研究成果の創出を目指す文部科学省の委託事業です。

(URL: <https://www.nanonet.go.jp/>)

「マテリアル先端リサーチインフラ」は、「ナノテクノロジープラットフォーム」で培った最先端設備共用体制と高度な技術支援を提供する専門技術者ネットワークを活かし、データ収集・利活用という新しい視点を加えることで、我が国のマテリアル革新力強化に貢献すべく設立された文部科学省の委託事業です。(URL: <https://www.nanonet.go.jp/arim/>)

4. お問い合わせ先

シンポジウムに関すること：

〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1

国立研究開発法人物質・材料研究機構 ナノテクノロジープラットフォームセンター

TEL: 029-859-2777 E-mail: JAPANNANO@nims.go.jp

広報に関すること：

国立研究開発法人物質・材料研究機構 経営企画部門広報室

TEL: 029-859-2026 E-mail: pressrelease@ml.nims.go.jp

本シンポジウムの最新情報と参加登録は下記 URL へアクセスしてください。

<https://www.nanonet.go.jp/japannano/2022/>